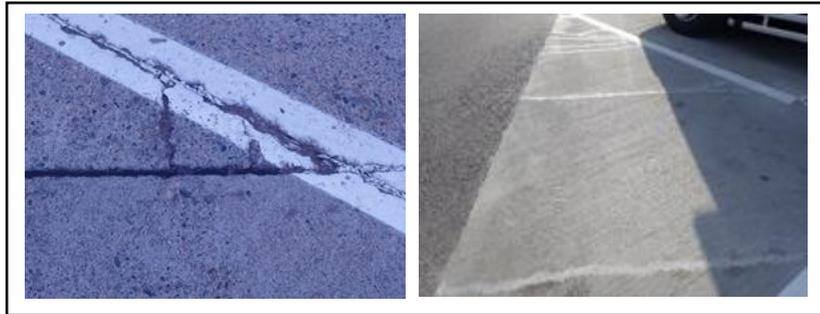


発生箇所	①縦目地, ②横目地
分類	設計
参考箇所	4-4-5 コンクリート版の補強, 9-3-1 ひび割れ

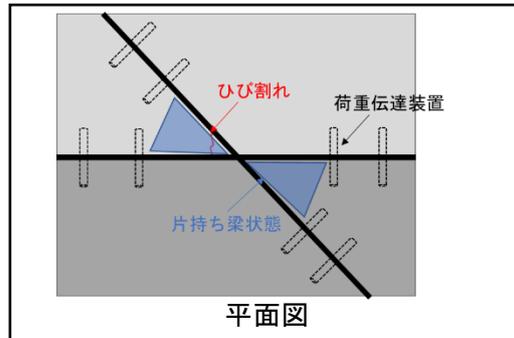
●内容

- 縦目地と横目地が鋭角に交差する鋭角部にひび割れが生じた。



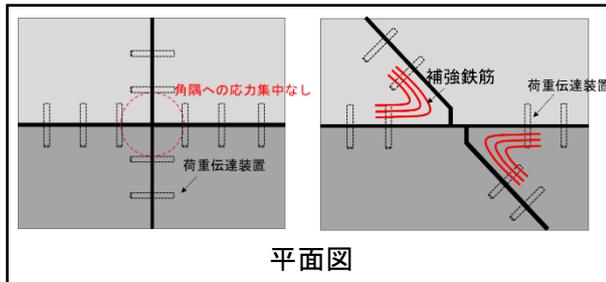
●原因

- 鋭角部では縦横方向のバーアセンブリの設置が不可能であり, 片持ち梁の構造となるため荷重伝達効果が得られなかった。



●発生防止策

- 目地を設計する際に鋭角部ができないように設計する。
- やむを得ず鋭角部となる場合には, 交差部で直角となる目地設計にし, 補強鉄筋 (D13) を配置して補強する。



●発生した場合の対応策

- ひび割れ部が飛散して角欠けに進行する可能性がある場合は, 損傷部分を取り除いてコンクリートや無収縮モルタル, アスファルト混合物等でパッチングを行う。
- ポットホール等に進行する恐れがない場合は, 瀝青材や樹脂材を用いたシーリングで対策を行う。
- 損傷が著しい場合は, 局部打換えを行う。

